

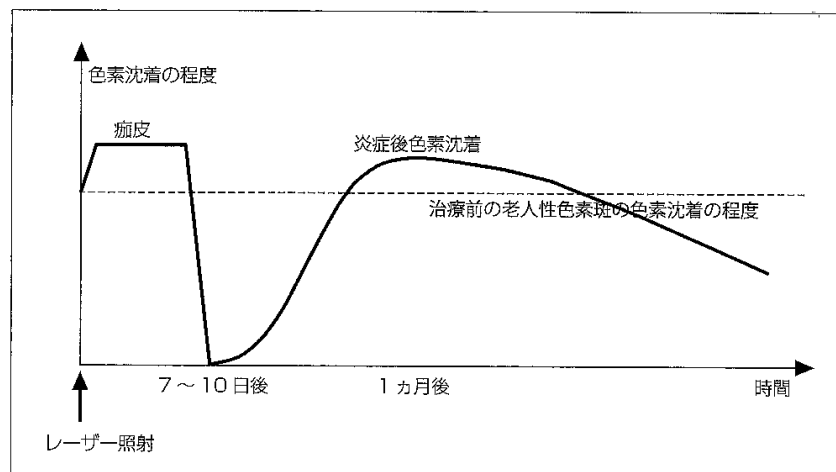
Q スイッチ YAG レーザーによる治療 説明書 / 同意書

照射前の注意点

- ・お顔の症状の場合、当日はお化粧をせずにご来院ください。院内で洗顔も可能です。
- ・保冷剤で冷却しながら照射します。痛みに敏感な方は麻酔テープをお渡ししますので1時間以上照射部位に貼って頂きます。尚、麻酔アレルギーのある方は使用できません。
- ・レーザー照射から5日間お渡しした軟膏を塗り、上から茶色いテープを貼って保護してください。6日目からは軟膏を塗る必要はありませんが、10日目まではテープで保護するのをしてください。もし、10日目の再診日までの期間にカサブタが剥がれてしまってもテープを貼って保護するのは続けてください。
- ・テープを貼っている部位以外のところはお化粧できます。
- ・入浴では、洗髪などでつい照射部位に手がいってしまい傷つける場合がありますので、テープを剥がさずにお入りください。洗顔の際もテープを剥がさず優しく泡で洗顔してください。洗顔後にゆっくりテープを剥がして、ぬるま湯で優しく洗って照射部位を清潔に保ち、その後、新しいテープに貼り替えて下さい。
- ・テープで保護する時期が終了しても、半年間は美白剤と日焼け止めのご使用をお勧めします。

治療後の経過

- ① **炎症後色素沈着** 照射部位は翌日から黒いカサブタになります。カサブタは自然に剥がれるのに通常は7日から10日ほど、長いと20日ほどかかる方もいらっしゃいます。無理に早くカサブタを剥がしてしまうと、カサブタの下の皮膚が準備できていない状態で露出されるため刺激に弱く、炎症後色素沈着がより出現しやすくなりますのでご注意ください。きちんとケアできた場合でも3～4週間後に炎症後色素沈着が出現することがあります。日本人の場合は高頻度にこの炎症後色素沈着をきたすといわれています。色調は4週間後がピークで、その後は徐々に薄くなります。顔の場合は通常3～4ヶ月で自然に消えます。この炎症後色素沈着の予防のためにも10日目の再診時に美白剤を購入していただくことを強くお勧めします。



- ② **皮下出血（内出血）** 毛細血管の脆い方は、レーザー照射の衝撃で皮下出血をきたすことがあります。年齢と共にその可能性は高くなりますが、30歳代でも認められることがあります。ただし、2～3週間で自然に消失します。
- ③ **色素脱失** シミ、ソバカス、ホクロのレーザー照射ではまれですが、照射部位の色素脱失が起こることがありますが、その場合は経過を見ていくしかありません。
- ④ **水疱** レーザー照射の衝撃で照射部辺縁に小さい水疱をきたすことがあります。あらかじめ軟膏をお渡ししますので自然に軽快します。

効果や副作用

- ・ 効果の程度は個人差があります。
- ・ 一部の方では再発することもあり、その場合は追加照射が必要になりますが、その場合は別途費用がかかります。
- ・ 上記①～④の副作用が出現した場合には、できる限りの処置や治療を当院で致します。薬代が別途かかる場合があることをご了承ください。また、他の病院で受けた治療費はお支払いできません。施術費用のご返金も致しかねますのでご了承ください。

チェックリスト

以下の方はレーザー治療ができません。

- リウマチの方 金製剤の使用歴のある方（シオゾール、グレリース、リザベラ、リドーラなど） 光感受性の強い方 光感受性を増強させる薬剤（テトラサイクリンなど）を服用している方 前ガン病変、悪性腫瘍またはその疑いのある方 出血性疾患を有する方 肝斑のある方 治療部位に金の糸をいれている方 照射部位に肌色や白色の刺青を入れている方

以下の方はレーザー治療にあたって注意を要します

- 糖尿病や膠原病があり創傷治癒に問題のある方 心臓疾患を有する方（心臓病、高血圧、またはペースメーカー使用者） 照射部位に皮膚疾患を持つ方 蕁麻疹、アトピー性皮膚炎などでアレルギー体質の方 日焼けをしている方、または治療後日焼けをする可能性のある方
- 授乳期間にある方 妊娠している方 抗凝固剤（バイアスピリン、ワーファリンなど）を服用している方

目白れい皮膚科クリニック 院長 岡本玲子

以上の内容につき理解した上で、施術を受けることに同意します。

同意日 平成 年 月 日

本人住所 _____

本人氏名 _____

本人が未成年の場合は保護者氏名 _____